

契約内容変更覚書

甲及び乙は、下記契約について、契約内容の一部を変更するため、本覚書を締結する。

原契約名	
原契約締結日	令和 年 月 日
変更の効力発生日	令和 年 月 日
変更対象条項	第 条

変更前	
変更後	

本覚書に定める事項を除き、原契約の各条項は引き続き有効に存続する。本覚書の成立を証するため、本書二通を作成し、甲乙記名押印のうえ各一通を保有する。

令和 年 月 日

甲 住所： 乙 住所：

名称： 名称：

代表者： 印 代表者： 印

変更覚書

本変更覚書（以下「本覚書」という。）は、甲乙間で締結された原契約（第1条に定める。）の一部内容を変更することについて、当事者間の合意事項を明らかにするものである。

第1条（原契約の特定）

甲乙は、●●年●●月●●日に締結した●●（以下「原契約」という。）の内容について、本覚書の定めに従い変更することに合意する。

第2条（変更内容）

原契約のうち、以下の条項を変更する。

1. 原契約の第●●条の内容を、以下のとおり変更する。

【変更前】

【変更前の本文を記載】

【変更後】

【変更後の本文を記載】

2. 前項に定める変更は、本書面が締結された日以降に生じる事項について適用されるものとする。

第3条（変更の範囲）

本覚書により変更されるものは、前条に示された内容に限られるものとし、原契約のその他の事項については、従来とおり有効に継続するものとする。

第4条（契約内容の優先関係）

本覚書の内容と原契約の内容に抵触する場合には、本覚書の定めが優先して適用されるものとする。

第5条（秘密保持）

本覚書の存在および内容については、甲乙ともに第三者に開示しないものとする。やむを得ず開示する場合には、事前に書面により通知し、相手方の承認を受けなければならない。

甲：_____（署名押印） 乙：_____（署名押印）

契約金額変更覚書

甲及び乙は、下記契約に定める契約金額を変更することについて、次のとおり合意し、本覚書を締結する。

原契約名	
原契約締結日	令和 年 月 日
変更の効力発生日	令和 年 月 日
変更理由	

変更前の契約金額	金	円（消費税別・税込）
変更後の契約金額	金	円（消費税別・税込）
差額又は精算方法		

本覚書に定める契約金額の変更を除き、原契約の各条項は従前どおり有効に存続する。本覚書の成立を証するため、本書二通を作成し、甲乙記名押印のうえ各一通を保有する。

令和 年 月 日

甲 住所： 乙 住所：

名称：名称：

代表者：印 代表者：印

契約金額変更覚書

本契約金額変更覚書（以下「本覚書」という。）は、甲乙間で締結された原契約（第1条に定める。）に定める契約金額を変更することについて、当事者間の合意事項を明らかにするものである。

第1条（原契約の特定）

甲乙は、●●年●●月●●日に締結した●●（以下「原契約」という。）の契約金額について、本覚書の定めに従い変更することに合意する。

第2条（変更内容）

原契約の契約金額を、以下のとおり変更する。

【変更前】 原契約の契約金額 ●●円（税込）

【変更後】 変更後の契約金額 ●●円（税込）

第3条（変更の効力）

本覚書の定めは、●●年●●月●●日から適用されるものとする。

- 本覚書の効力発生日前に既に支払われた金額については、変更の影響を受けないものとする。
- 本覚書の効力発生日以降に請求される金額には、変更後の契約金額が適用されるものとする。

第4条（精算方法）

前条に定める精算に際し、変更前後の差額が発生する場合には、●●月以内に甲乙間で精算を行うものとする。

第5条（その他の条件）

本覚書に定めのない事項については、原契約のとおりとする。本覚書と原契約の契約金額に関する条項に抵触する場合には、本覚書の定めが優先する。

甲：_____（署名押印） 乙：_____（署名押印）

契約期間延長覚書

甲及び乙は、下記契約の契約期間を延長することについて、次のとおり覚書を締結する。

原契約名	
原契約締結日	令和 年 月 日
現在の契約期間	令和 年 月 日から令和 年 月 日まで
延長後の契約期間	令和 年 月 日から令和 年 月 日まで

更新後の条件	
その他確認事項	

本覚書に定める契約期間の延長を除き、原契約の内容は従前どおり有効に存続する。本覚書の成立を証するため、本書二通を作成し、甲乙記名押印のうえ各一通を保有する。

令和 年 月 日

甲 住所：

乙 住所：

名称：

名称：

代表者：

印

代表者：

印

契約期間延長覚書

本契約期間延長覚書（以下「本覚書」という。）は、甲乙間で締結された原契約（第1条に定める。）の契約期間を延長することについて、当事者間の合意事項を明らかにするものである。

第1条（原契約の特定）

甲乙は、●●年●●月●●日に締結した●●（以下「原契約」という。）について、契約期間の延長に合意する。

第2条（延長期間）

原契約の契約期間を、以下のとおり延長する。

1. 現行の契約満了日：●●年●●月●●日
2. 延長後の契約満了日：●●年●●月●●日
3. 延長期間中は、原契約の条項がそのまま適用されるものとする。

第3条（契約条件）

延長期間における契約条件は、原契約のとおりとする。ただし、甲乙間で別途書面により変更を合意したものは、その合意が優先する。

第4条（解約）

延長期間中における原契約の解約については、原契約に定める解約条項が準用されるものとする。

第5条（協議）

本覚書に定めのない事項については、甲乙が誠実に協議のうえ、書面により別途定めるものとする。

甲：_____（署名押印） 乙：_____（署名押印）

業務委託契約変更覚書

甲及び乙は、両者間で締結した業務委託契約について、委託業務その他の条件を変更するため、本覚書を締結する。

原契約名	業務委託契約書
原契約締結日	令和 年 月 日
変更の効力発生日	令和 年 月 日
対象業務	

変更前	
変更後	
委託料	月額・総額 金 円（消費税別・税込）
支払期日	毎月 日締め、翌月 日払い

本覚書に定める事項を除き、原契約の各条項は引き続き効力を有する。本覚書の成立を証するため、本書二通を作成し、甲乙記名押印のうえ各一通を保有する。

令和 年 月 日

甲 住所： 乙 住所：

名称：名称：

代表者： 印 代表者： 印

業務委託契約変更覚書

本業務委託契約変更覚書（以下「本覚書」という。）は、甲乙間で締結された業務委託契約（第1条に定める。）の業務範囲および報酬等を変更することについて、当事者間の合意事項を明らかにするものである。

第1条（原契約の特定）

甲乙は、●●年●●月●●日に締結した●●（以下「原契約」という。）の内容について、本覚書の定めに従い変更することに合意する。

第2条（業務範囲の変更）

原契約に定める委託業務の範囲を、以下のとおり変更する。

【変更後の委託業務内容を記載】

前項の変更に伴い、原契約の第●●条に定める業務内容は、本覚書の記載に差し替えるものとする。

第3条（報酬の変更）

前条の業務範囲の変更に応じ、委託料を月額●●円（税込）とする。

- 支払方法は、原契約の支払条項に従うものとする。
- 本覚書の効力発生日以降に発生する報酬に適用されるものとする。

第4条（特約）

本覚書に定めのない事項については、原契約の定めがそのまま準用されるものとする。本覚書と原契約に抵触する事項がある場合には、本覚書の定めが優先する。

甲：_____（署名押印） 乙：_____（署名押印）

支払条件変更覚書

甲及び乙は、下記契約に基づく支払条件を変更することについて、次のとおり合意し、本覚書を締結する。

原契約名	
原契約締結日	令和 年 月 日
変更の効力発生日	令和 年 月 日

変更前	支払期日： 支払方法：
変更後	支払期日： 支払方法：
分割・精算 条件	

本覚書に定める支払条件の変更を除き、原契約の各条項は引き続き効力を有する。本覚書の成立を証するため、本書二通を作成し、甲乙記名押印のうえ各一通を保有する。

令和 年 月 日

甲 住所： 乙 住所：

名称： 名称：

代表者： 印 代表者： 印

支払条件変更覚書

本支払条件変更覚書（以下「本覚書」という。）は、甲乙間で締結された原契約（第1条に定める。）に定める支払条件を変更することについて、当事者間の合意事項を明らかにするものである。

第1条（原契約の特定）

甲乙は、●●年●●月●●日に締結した●●（以下「原契約」という。）の支払条件について、本覚書の定めに従い変更することに合意する。

第2条（支払条件の変更）

原契約に定める支払条件を、以下のとおり変更する。

- 支払期日 → 毎月末日締め、翌月●●日までに支払うものとする。
- 支払方法 → 銀行振込（甲の指定口座）とする。
- その他支払にかかる条件は、変更後の条項に従うものとする。

第3条（変更の適用範囲）

本覚書の変更は、●●年●●月分以降の請求に適用されるものとする。

- 本覚書の効力発生日前に既に発生した請求については、変更前の支払条件が適用されるものとする。
- 遅延損害金の計算基準は、変更後の支払期日起算とする。

第4条（その他の約款）

本覚書に定めのない事項については、原契約のとおりとする。本覚書と原契約の支払条件に関する条項に抵触する場合には、本覚書の定めが優先する。

甲：_____（署名押印） 乙：_____（署名押印）